

| 事務事業名 | 生涯スポーツの充実 | 所属 | 生涯学習部スポーツ振興課 | H20事業費 (単位：千円) | 208,505 |
|------------------|---|----|--------------|-------------------|---------|
| 目的 | <p>市民のスポーツを通しての健康の保持・増進及び競技力の向上を図る目的で、市民スポーツ大会をはじめとする、各種スポーツ大会などの健康増進事業の開催、地域スポーツの振興を図るため各種スポーツ団体の育成やスポーツ施設の管理運営を行う。</p> | | | | |
| H20年度の取り組み実績及び成果 | <p>第20回市民スポーツ大会の開催 陸上の部 6月1日(日) 参加者5,500人 球技の部 8月17日(日)・10月26日 参加者2,200人 総合1位 東西条 2位 河内 3位 造賀</p> <p>ひろしま県央競歩大会及びさわやかウォーク(歩こうDAY) 11月23日(日) 競歩参加者188人 ウォーキング参加者69人</p> <p>東広島市体育協会助成 団体育成事業 21団体 地域振興部助成事業 4団体 小学校区体育振興会助成 37小学校区(各120千円)</p> <p>東ひろしま新春駅伝競走大会 1月10日(土) 135チーム参加</p> <p>小・中学校体育館・グラウンド開放 100施設 18,671件 343,022人利用 小学校プール開放 35施設 51,019人利用 市民体育館・市民・区民グラウンド等 15施設 133,806人利用 市民・区民プール等 9施設 71,377人利用</p> | | | | |
| 評価及び課題 | <p>スポーツに親しむ機会の提供については、各種大会等の参加数は年々増加しており、市民の生涯スポーツへの関心等は高まっている。また、各小学校区体育振興会において、地域の特性を活かしたスポーツ行事を開催し、多くの市民が参加している。</p> <p>競技スポーツの振興については、東広島市体育協会への助成を通じて各種スポーツの普及振興と競技力向上を支援し、第63回おおいた国体では、1名の優勝者他6人が入賞している。</p> <p>学校体育館・グラウンド・プール開放及び市民体育施設等のスポーツ施設の管理を行ない、市民の健康・体力づくりやスポーツの振興を推進した。</p> | | | | |

| 事務事業名 | スポーツ施設整備 | 所属 | 生涯学習部スポーツ振興課 | H20事業費 (単位：千円) | 69,396 |
|------------------|---|----|--------------|-------------------|--------|
| 目的 | <p>「いつでも どこでも 誰もが楽しめる生涯スポーツ社会の実現」を目指すために、市民がスポーツを通して、健康で明るい市民生活を営むことができるよう、スポーツ施設の整備を行う。</p> | | | | |
| H20年度の取り組み実績及び成果 | <p>(仮称)福富パークゴルフ場管理棟新築等 工期：平成20年8月14日～平成21年1月30日 構造：木造平屋 72.04㎡(ホール・事務室・倉庫他)</p> <p>社会体育施設整備 安芸津B&G海洋センター下水道接続 八本松市民グラウンド、福富運動公園グラウンド防球ネット改修</p> | | | | |
| 評価及び課題 | <p>県と市で整備中である福富パークゴルフ場の供用開始に向けて、管理棟の整備を行なったが、ダム試験湛水の遅れから、コースが未完成でありオープンが遅れている。また、安芸津B&G海洋センター下水道接続工事等の施設改修を行なった。合併後のスポーツ施設設備構想の検討が必要である。</p> | | | | |

| 事務事業名 | 児童の活動拠点づくり | 所属 | 学校教育部青少年育成課 | H20事業費 (単位：千円) | 17,300 |
|------------------|--|----|-------------|-------------------|--------|
| 目的 | <p>東広島市児童青少年センターを市内の児童生徒の心の居場所となるよう管理・運営する。</p> <p>青少年の健全育成と非行防止活動を推進する少年補導センターとしての機能の充実を図る。</p> <p>生涯学習の視点に立ち、明るい家庭作りの推進、各地区の育成活動の強化、青少年の社会参加活動の促進、青少年の育成に好ましい社会環境づくりの推進を主眼に活動する青少年育成東広島市民会議・社会を明るくする運動東広島市実施委員会の活動に対して補助金を交付する。</p> <p>東広島市の学校教育の代表として高い評価を受け、市のイメージアップにも大きく貢献している西条中学校の「組曲：西條」、西条小学校の「オペラ白壁の街」の取組みに対して市内の企業から寄附をつのり、その寄附金を補助金として充てる。(平成16年から5年間)</p> | | | | |
| H20年度の取り組み実績及び成果 | <p>平成20年度中の児童青少年センターの利用状況は、一般の利用者が、49,259人。青少年育成関係団体が、41団体613人である。</p> <p>心配な青少年への声かけ、指導、相談を、心の教育総合アドバイザー、補導指導員を中心に行った。また、暴走族対策実行委員会の巡視活動を実施した。巡視活動は、全市、黒瀬町を対象に年間19回実施し、参加者1,017人。高屋町では、年間50回、1,616人の参加があった。</p> <p>補助金団体の具体的な事業として、青少年育成リーダー研修会、非行防止啓発活動、環境浄化活動(7・11月)、ヤングメッセージ、チャレンジランキング(11月)、ケータイ電話の危険性の啓発リーフレット作成配付(11月)、社会を明るくする運動東広島市推進大会・啓発市中パレード、各町広報啓発活動などを行った。</p> <p>200万円の寄付金のうち、190万円を組曲「西條」に取り組む「とらい・やる21西条中学校実行委員会」に105万円、オペラ「白壁の街」に取り組む「西条小学校PTA」を支援していくために85万円、それぞれ補助した。</p> | | | | |
| 評価及び課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・センター利用者への満足度に関するアンケートでは、利用者の98%から肯定的な回答を得た。 ・駅前、大型店舗等にたむろする青少年はいるが、顕著な非行少年グループ、暴走族の活動はない。地域による青少年の見守り活動が効果を上げている。 ・青少年育成東広島市民会議の事業のうち、主な事業の参加者は、次のとおりである。 チャレンジランキング(600人)、ヤングメッセージ(350人) 市民啓発(サイバー犯罪の増加について)のリーフレットを作成し、全戸(65,000戸)に配布した。 青少年地域活動日(ゆーすふる・サンデー)推進事業(9,820人、40小学校区で実施) ・酒まつりで、西条中学校の組曲「西條」、西条小学校の「オペラ白壁の街」の発表を行い、参加者から大きな反響があった。 ・児童青少年センターが土日を開館日としているため、職員の勤務の割り振りが不規則となる。 ・教育相談等利用者への指導助言等が必要となる場合があるため、指定管理者制度の導入が難しい。 ・補助金団体の事務局のあり方について検討する必要がある。 ・平成20年度をもって終了した補助事業について、各実行委員会が自立して、活動資金を確保するようにするが、今後、支援は続けていく(青少年健全育成関係の補助事業の紹介など)。 | | | | |